

## 主な成分一覧表

分類	成分	作用・特徴	配合薬	
サリチル酸系 解熱鎮痛成分	サザピリン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中枢神経系におけるプロスタグランジンの産生抑制作用</li> <li>・ライ症候群の発生可能性</li> </ul>	解熱鎮痛薬	
	アスピリン サリチルアミド エテンザミド		かぜ薬 解熱鎮痛薬	
非ピリン系 解熱鎮痛成分	アセトアミノフェン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中枢神経系におけるプロスタグランジンの産生抑制作用</li> <li>・末梢における抗炎症作用は期待できない</li> <li>・胃腸障害は少ないが、食後の服用を推奨</li> <li>・小児の解熱用の坐薬がある</li> </ul>	かぜ薬 解熱鎮痛薬	
	イブプロフェン			<ul style="list-style-type: none"> <li>・中枢神経系におけるプロスタグランジンの産生抑制作用</li> <li>・胃腸への悪影響が少ない</li> <li>・15歳未満の小児に使用しない</li> </ul>
ピリン系 解熱鎮痛成分	イソプロピルアンチピリン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中枢神経系におけるプロスタグランジンの産生抑制作用</li> <li>・一般用医薬品で唯一のピリン系</li> <li>・解熱鎮痛作用は強いが抗炎症作用は弱い</li> </ul>	かぜ薬 解熱鎮痛薬	
抗ヒスタミン 成分	クロルフェニラミンマレイン酸塩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肥満細胞から遊離したヒスタミンが受容体と反応するのを妨げることで、ヒスタミンの働きを抑える</li> </ul>	かぜ薬 口腔咽喉薬・含嗽薬 内服アレルギー用薬 鼻炎用点鼻薬 外用薬	
	クレマスチンフマル酸塩		かぜ薬 鎮咳去痰薬 内服アレルギー用薬	
	アゼラスチン		内服アレルギー用薬	
	メキタジン		かぜ薬 内服アレルギー用薬	
	ケトチフェンマル酸塩		<ul style="list-style-type: none"> <li>・肥満細胞から遊離したヒスタミンが受容体と反応するのを妨げることで、ヒスタミンの働きを抑える</li> </ul>	鼻炎用点鼻薬 点眼薬
	ジフェンヒドラミン塩酸塩		<ul style="list-style-type: none"> <li>・肥満細胞から遊離したヒスタミンが受容体と反応するのを妨げることで、ヒスタミンの働きを抑える</li> <li>・抗ヒスタミン成分の中でも特に中枢作用が強い</li> </ul>	眠気を促す薬 外用痔疾薬 内服アレルギー用薬 外用薬
	ジメンヒドリナート メクリジン塩酸塩		<ul style="list-style-type: none"> <li>・肥満細胞から遊離したヒスタミンが受容体と反応するのを妨げることで、ヒスタミンの働きを抑える</li> <li>・延髄にある嘔吐中枢への刺激や内耳の前庭における自律神経反射を抑える</li> </ul>	鎮暈薬
	プロメタジン塩酸塩			

主な漢方処方製剤一覧表

分類	漢方	体力	キーワード	カンゾウ	マオウ	ダイオウ
かぜ	麻黄湯	充実	かぜのひきはじめ、身体のふしぶしが痛く汗が出ていないものの感冒	○	○	—
	葛根湯	中等度以上	感冒の初期（汗をかいていないもの）	○	○	—
	小柴胡湯	中等度	舌に白苔	○	—	—
	半夏厚朴湯	中等度	気分がふさいで、咽喉・食道部に異物感があり、不安神経症、のどのつかえ	—	—	—
	麦門冬湯	中等度以下	痰が切れにくく、ときに強く咳こみ 咽頭の乾燥感	○	—	—
	柴胡桂枝湯	中等度又はやや虚弱	多くは腹痛を伴い、吐きけなどのあるものの胃腸炎、かぜの中期から後期	○	—	—
	小青竜湯	中等度又はやや虚弱	うすい水様の痰を伴う咳や鼻水、花粉症	○	○	—
	桂枝湯	虚弱	汗が出るもののかぜの初期	○	—	—
	香蘇散	虚弱	神経過敏で気分がすぐれず胃腸の弱いもののかぜの初期、血の道症	○	—	—
鎮痛	芍薬甘草湯	関わらず	筋肉の急激な痙攣、こむらがえり	○	—	—
	薏苡仁湯	中等度	関節や筋肉のはれや痛みがあるものの関節痛	○	○	—
	麻杏薏甘湯	中等度	いぼ、手足のあれ（手足の湿疹・皮膚炎）	○	○	—
	疎経活血湯	中等度	痛みがあり、ときにしびれがあるものの関節痛	○	—	—
	釣藤散	中等度	慢性に経過する頭痛	○	—	—
	当帰四逆加呉茱萸生姜湯	中等度以下	下肢の冷えが強く	○	—	—
	呉茱萸湯	中等度以下	しゃっくり	—	—	—
	桂枝加朮附湯	虚弱	手足が冷えてこわばり	○	—	—
	桂枝加苓朮附湯		+筋肉のぴくつき			
催眠鎮静	柴胡加竜骨牡蛎湯	中等度以上	精神不安があつて+便秘などを伴う高血圧の随伴症状	—	—	○
	抑肝散	中等度	神経がたかぶり、イライラ、不眠症、小児夜なき、歯ぎしり	○	—	—
	抑肝散加陳皮半夏		+やや消化器が弱く			
	酸棗仁湯	中等度以下	心身が疲れ、不眠などがあるものの不眠症、胃腸が弱い人、下痢又は下痢傾向のある人は不向き	○	—	—
	加味帰脾湯	中等度以下	心身が疲れ、血色が悪く	○	—	—
	桂枝加竜骨牡蛎湯	中等度以下	興奮しやすいものの神経質、眼精疲労	○	—	—